

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30年 2月 13日		受理者印
午前 2時14分 受理 午後		
議会名	平成 30 年 第 1 回 佐野市議会定例会	
発言者	議席番号 14 番 氏名 田 所 良 夫	
答弁を求める者（選択してください）	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長	
質問方法（いずれかを選択してください）	一問一答 ・ 一括質問一括答弁	
大項目（質問項目） 中項目（質問細目）	小項目（具体的な質問内容）	
1 観光立市、産業・文化立市について (1) 第24回全国山城サミット佐野大会の結果と今後の取り組みについて	①観光立市を掲げる本市において、今回の第24回全国山城サミット佐野大会開催の経緯を改めて伺います。 ②第24回全国山城サミット佐野大会開催の目的と意義を改めて伺います。 ③平成29年11月25日と26日の両日開かれた「第24回全国山城サミット in 佐野」では、たくさんのイベントがありましたが、具体的な成果は何ですか。 ④限られた時間、限られた場所・予算等で多くの制約があったなか、反省点は何かありますか。 ⑤報道によりますと、2日間の延べ来訪者は約1万人に上ると言われていますが、来訪者・参加者の反応はいかがでしたか。 ⑥第2次総合計画では「産業・文化立市」が掲げられていますが、今回の全国山城サミット佐野大会等を通じての経済効果はどのように考えていますか。 ⑦大会を一過性のものにしないため、今後、余韻を消すことなく唐沢山城跡を会場にしたイベントを年一度継続的に開催すべきと考えますが、当局の見解を伺います。	

(2) 観光資源価値向上への取り組みと今後の活用発信について

⑧唐沢山城跡は、市外県外の方たちにはまだまだ認知度が低いと感じます。ラーメンを食べに佐野にお訪れたり、唐沢山城跡に関心のない人たちにも立ち寄っていただくきっかけを作るためにも、主要道路に唐沢山城跡への案内看板が不可欠と思いますが、設置していく考えはありますか。

①戦国唐沢山城「^{もののふ}武士たちの夢の跡」発行の歴史紹介こそ全国山城サミット佐野大会の大きなレガシーの一つと感じますが、当局の見解を伺います。

②戦国唐沢山城の冊子では、特に上杉謙信、武田信玄、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、伊達政宗・輝宗親子など、唐沢山城を舞台とした歴史の記載があり、このような史実は今後本市の観光立市の観光資源の要素になりうると思いますが、当局の見解を伺います。

③戦国唐沢山城「^{もののふ}武士たちの夢の跡」の冊子は全国山城サミット大会の尊いレガシーの一つと感じます。歴史価値も見直しをされブランド力も高まったと思いますが、これら山城サミット大会を一過性のイベントとして終わらせることなく、観光立市、産業・文化立市の立場から、また今後、新たなスタートとして郷土歴史の再発見、再認識の観点からも「戦国唐沢山城」等をデスティネーションキャンペーンに活用し、それを足がかりに次なる飛躍を目指してはいかがでしょうか、当局の見解を伺います。